

愛知スキー協通信 No.296

発行:新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2019年 10月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集 : Hadashi スキークラブ

48期 を楽しんで いこう



文責 愛知スキー協理事長・技術部長兼任 寺田 康男
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)

♪ 子ども背負い

家事はスクワットで ♪

♪ 日常がゲレンデ はだしスキークラブ ♪

Hadashi スキークラブのテーマソングをつくりました。

1, 「みなさん 総会方針憶えていますか？」

総会議案 方針 抜粋

- 1 組織の活性化のために (初めての出来事を、視点を改めてよりよく発展させます)
⑧ クラブ対抗クラブカポイント制度を考えます

*テーマソングのあるクラブは愛知スキー協会 初ではないでしょうか?
フェスティバルで披露しますので、クラブポイントをまずは、1ポイントリードします。

2, やる気は、民主的推進力 どうその気を引き出すか

9/6~7 第40回 東海ブロック スキー交流学習会三重マリンセンター「海の学舎」
愛知=9 三重=4 岐阜=2 静岡=4 合計=19 (指導員外2名を含)

やったことのないスポーツを体験できる「交流学習会」を企画しました。

スキー交流学習は、シーズンを迎える前にじっくりと学習と議論を深め、スキーの技術力・組織力を向上し合う場という位置づけで、総会后行なう目標80名の行事です。

指導員の研修会を兼ねますが、指導員を対象とした内容よりは、クラブ活動を楽しく、広く伝える為にどうすればよいのかを、体を動かして、交流しながら、学習しながら、みんなで考える為の行事です。重点対象者はクラブで活躍してほしい人、上手くなってほしい人でした!!

自分達の企画でないところが、今回の一番の敗因と思います。交流学習会が20名を切ったのも初めての出来事です。ピンチはチャンスのかかと考えます。

10/26~27 東海ブロック技術講座 12/7~8 中央研修会 12/14~15 初滑り in 菅平と続きます。

第40回 東海ブロック スキー交流学習会

in 三重マリンセンター

以下の報告文責 寺田 康男

9/6 (土曜日の 10:00 頃)



9艇 18名が参加

スポーツ体験「シーカヤック体験」



9月7日台風接近で外洋は、白波がたつなか湾内は、比較的穏やか 日射しは強く にもかかる飛沫と風が気持ち良かったのしい1時間でした。若い女性インストラクターの淡々とした説明後2人1組で9艇が出航しました。正直 外洋にでてみたかったです。今度は、スタンドアップパドルボードに挑戦してみたくなりました。

第1課:講座 報告 (スキー協にとっての教室の意義)

「楽しいスキー教室の受け方 創りかた」 担当講師：寺田康男

技術を教え、伝達することは、指導員だけの役目と多くの方が思いがち、教室への参加は、誰もが出来る環境づくりのひとつです。当然指導員のしなければならぬことも再確認しながら組織をつくり、発展させることは何なのか議論を深めました。

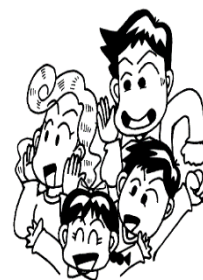
スキー技術を伸ばすには、弱点の克服か長所を伸ばすのかの議論に成りました。指導する立場では、欠点の指摘なら見えるが、長所はどうみつけるのか判らない。

出来ていない状況は判断出来るが、出来ている事の何処がその人の長所かは、理解できない。実例を示し、どう指導し、どう実践されて、どう変化したかの説明がないと判らない様でした。次回の技術講座(10/26・27)では、その点にスポットを充てて具体化して行きます。

第2課:講座 報告 (フェスティバルで何故競技会をやるの)

「皆でつくる競技会とは？」 担当講師：澤田安利

- ・ 東海ブロックの競技に対する姿勢と取組及び企画の歴史について
- ・ ポール練習による技術向上の理由とポールの魅力について
- ・ 競技規則からみる競技会開催の手順について
- ・ デラがけの仕方・旗門係手順と視点・具体的な準備と片付けの手順
- ・ ポールの取り扱い方とセットの手順
- ・ 具体的な反則例・抗議の仕方



上記内容が話され、質問と議論がされました。

第3課:講座 報告 (人が増えると何が良くなる)

「クラブ力のポイント」 担当講師：浅井千恵

- ・ 「クラブ員が自分のものとして考えているかによると思う」
- ・ 一人ひとりを大切に作るクラブだからクラブ員が増えた実態報告、経験報告
- ・ 要求をどう満たしてきたか。山スキーの魅力、「ぶなの木」の実態と魅力

上記内容が話され、質問と議論がされました。

東海ブロックスノーフェスティバル実行委員会を参加者全員で30分間行い、完成した、ポスター、ビラをどう活用するかを議論がされました。

3課と4課の間で

第4課:講座 報告 (技術論座学)

「教程書の普及とみんなの理解度」 担当講師：佐藤 実

DVD を駒送りしたり、止めたり、戻したり観ながら、教程書が伝えたいこと、皆がしている理解の食い違いを議論しながら、理解を深めました。

9月8日(日) 朝の体幹トレーニング



ストレッチ



バランスボールを使って



紐を使って

スポーツセミナー 第1課 9:00~12:00

「救急法(AED・外傷等の処置)の講習」

「ビデオ上映(地震等災害について)」

指導:津市北消防署河芸分署





第2課 13:00~15:00

80歳になってもスポーツを続けるための 「筋力トレーニング」

いしだ よしえ
講師:石田 良恵氏

(女子美術大学名誉教授・保健学博士)



アルペン競技用語解説⑮《大会の仕方5》 大会の準備2

役員やセッター、会場係は、スキー場やコースを熟知していることが大事です。そうでないときは下見をしたり、大会前に先乗りしたりします。11月3日フェスティバルの下見を予定しています。ここで地形の様子や施設等をいつも確認しています。

大会ができるエントリーがありバーンも大丈夫。エントリーリスト・大会要項・タイムスケジュール・役割分担表を作成して大会要項を作ります。(普通の大会では会場や駐車場、食事などの案内は順次行っています。大きな大会では天候などのデータも出してくれます。) 資材の確認をします。計測器・放送機器・ゼッケン・掲示関係テント・セットにかかわるポール・ドリル・フラッグ・ナンバーリングやマーキングの道具等々です。会場によっているものも違います。バーン状態によっても変わってきます。

大会はバーンありきです。大きな大会では事前に雪入れや水撒き、スノーセメント(普通硫酸アンモニウム通称硫アンをたまに食塩等)を入れます。事前の圧雪はスキー場の腕の見せ所です。木の木や野沢温泉はしっかりしています。ただお金もかかる話なので・・・安全にかかわることなので注意が必要です。

最後にどう運び運営するかになります。

「S-B-B認定整備技術者セミナー」

9月13日名古屋栄ビルディンで行われました。スキー協から三宅秀和と澤田安利が参加しました。対象は販売店・スキー場、レンタル関係者・スクール関係者です。スキー・ビンディング・ブーツをセットした人に責任があるからです。簡単に言うとビンディングの解放値を本人以外が動かしたら責任が生じます。何かあったら、十分説明をして本人に依頼されたという証拠が必要ということです。

